



(上) 出席者による海中献花

(右) 敦賀高校水泳部による初泳ぎも行われました



夏はやっぱり海!

7/8 海開き

夏本番を目前に、市内17カ所の海水浴場が一斉に海開きを迎えました。今年からたくさんの方と一緒に祝おうと、開催日を以前の7月10日から、10日以前の直近の日曜日に変更。市営松原海水浴場で行われた式典では、曇り空の下、海水浴客や関係者など例年以上の観客約200人が集まりました。

式典では、期間中の安全を祈願する神事、海中献花が行われた後、松乃栄保育園の鼓笛隊30人による演奏や、ヨットとクルーザーによる海上パレードなどといったデモンストレーションが行われ、賑やかに式を締めくくりました。



訪中

外国の友達をたくさん作るぞ!

7/19 訪口・訪韓・訪中児童親善使節団 結団壮行式



訪口

敦賀市の海外姉妹都市を今夏訪問する児童親善使節団の結団壮行式が、プラザ萬象で行われました。訪問するメンバーは、ナホトカ市(ロシア)14人、東海市(韓国)16人、台州市(中国)14人の計44人。

児童たちは、「友達をたくさん作りたい」「日本のいいところをたくさん教えてあげたい」など、それぞれの抱負を元気に述べました。



訪韓

100年目の新しい門出

8/1 敦賀商工会議所 創立100周年記念式典

敦賀商工会議所の創立100周年記念式典がプラザ萬象で行われました。式典には、市内外から関係者およそ900人が出席。同会議所と敦賀の100年を映像で振り返った後、有馬会頭が「100周年を迎えた今、さらに活力ある敦賀市の構築に向け、会員の総力を結集し、新たな商工会議所づくりに決意を新たにしている」と式辞を述べました。また、式典に引き続いて、タレントで元参議院議員の西川きよし氏による記念講演会、伝統行事「みやあげ」も披露された記念祝賀会が開催され、同会議所の「100歳」を祝いました。



たくさんの人で盛大に100周年をお祝い

心肺蘇生法が一部変わりました!

皆さんに日頃お伝えしている「心肺蘇生法」の内容が、全国一律の「救急蘇生ガイドライン」変更に伴い、一部変わりました。

新しい蘇生法は全体が簡素化され、誰でも簡単に実行できるような内容です。いざという時のために、講習会に参加し、蘇生法の技術を磨きましょう!

新しい蘇生法は、従来の蘇生法を否定しているものではなく、より良い方法を推奨するためのものです。



～新しい心肺蘇生法～

主な変更点

★① 循環のサインの確認は行わない

省略することで、心肺蘇生開始までの時間を早めます。

循環のサイン
 傷病者の口に耳を近づけ呼吸・咳・体の動きを調べる

★② 人工呼吸は省略も可能

心肺蘇生のためには心臓マッサージが最も重要。口対口の人工呼吸が求められる場合は、人工呼吸を省略して心臓マッサージのみを行います。

★③ 心臓マッサージは30回

以前の15回に比べ、心臓マッサージの時間を長くします。

★④ AEDのショックは1回のみ

AED(自動体外式除細動器)による電気ショックは1回で十分な効果があります。ショック後はただちに心臓マッサージを行います。

1 反応を確認する

★①



2 119番通報、AED手配

★②



3 気道を確保し、

★②



4 心臓マッサージ30回

★③



3 4 の繰り返し!

※ 用意でき次第 AEDを使用

★④



音声メッセージに従い操作!
 【注意】
 AEDの電極パッドには1～8歳未満対象の小児用とそれ以外の成人用の2種類があります。小児に成人用のパッドは使用できますが、成人に小児用のパッドは使用できません。

誰でも受講できる 救急講習会

個人でも気軽に参加できる講習会です。皆さんの家族や友人、職場の同僚などと一緒に受講してみませんか?

開催日 毎月第4土曜日 9時～12時
 場所 敦賀消防署
 申込み 1週間前まで



市長マニフェスト実現に向け

政策プロジェクトチームを設置

※第五次敦賀市総合計画に基づき、河瀬市長が掲げたマニフェスト。
初予算に計上するなど実施に移していきます。

※第五次敦賀市総合計画
市民の皆さんの意見を取り入れ、市の将来像を描いた計画。平成9年に策定。今年3月に、集大成となる第3期基本計画を立てた。

※市長マニフェスト
市長の公約「安心安全」人が集う」等のテーマに基づき、災害時支援体制の充実、駅舎改築など、具体的な施策を掲げている。



設置後初めて行われた、公共交通体系整備チームの会議 (7月13日)

プロジェクトチーム (9つ)

- 災害時要援護対策の推進
- 総合防災システムの構築
- 観光・交流拠点の形成
- 農林水産業の活性化策の検討
- 団塊世代の人材活用の推進
- 中心市街地活性化基本計画の策定
- 公共交通体系の整備
- 子育てしやすい環境づくり
- ※ワンストップフロアの導入

※ワンストップフロア
各種証明や手続(住民票・国保・年金・水道等)を1階で済ますことができるようにする。

新潟県中越沖地震 被災地に 救援物資を支援



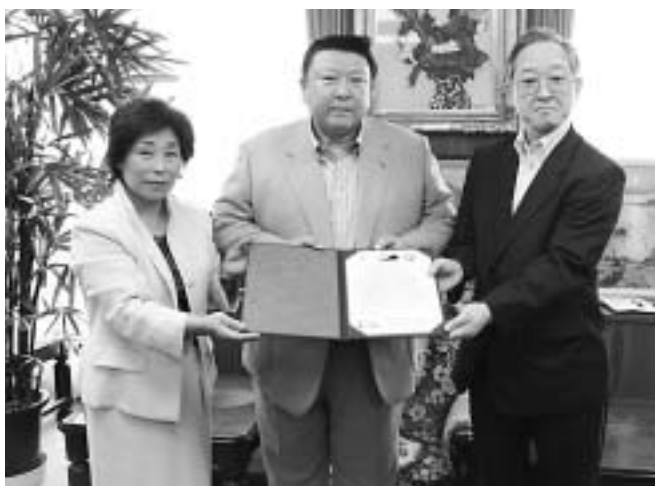
市役所前で行われた出発式。救援物資を運ぶ市職員に「被災地の皆さんを励ましてほしい」と市長からあいさつ。

7月16日に発生した「新潟県中越沖地震」の翌日、市は全国原子力発電所所在市町村協議会(全原協)会員の柏崎市、刈羽村からの支援要請を受け、全原協に加盟している美浜町、おおい町、高浜町とともに、救援物資を送りました。
また、被災した建築物の応急危険度判定のために職員2人、断水地域の漏水箇所やバルブの不具合の検査に職員4人を、柏崎市に派遣しました。

レジ袋有料化を支援

循環型社会を目指した 三者協定を締結

市は7月20日、第五次敦賀市総合計画に掲げた「循環型社会」の実現に向け、福井県民生活協同組合、敦賀市消費者連絡協議会と「循環型社会の構築に向けた取組に関する協定」を締結しました。



協定を結んだ(左から)市消費者連絡協議会の美尾谷清美理事長、河瀬市長、県民生活協同組合の藤川武夫理事長

これは、マイバッグ運動を進める同協議会と、年間50万枚のレジ袋利用がある同生協(ハーツ)が()との間でレジ袋の有料化が決まったのを受け、両者の活動を市が後押ししようとする結ばれたもの。レジ袋削減はもちろん、その他「循環型社会の構築」に関係するものは、今後、三者が積極的に協力して取り組んでいきます。

日からレジ袋1枚につき5円で販売。また、同協議会はマイバッグ持参運動に加え、レジ袋削減の必要性を市民に啓発。市は、同協議会と共に市民や他の事業者の有料化に対する理解や協力が得られるよう、広報活動に力を入れていきます。

国の「みなとオアシス」制度に第1号認定

誕生 「みなとオアシス敦賀」が



国土交通省北陸地方整備局が実施する「みなとオアシス」制度において、敦賀市が管内エリア認定の第1号に選定されました。

この制度は、港の魅力を全国に発信し、港を中心としたまちづくりにつなげていくことが目的。選定には、港の施設を活用して、住民参加の取り組みが継

続的に行われていることが必要です。
今回の認定で、敦賀を含め、北陸四県の五地域が登録。登録地域は「みなとオアシス」の商標とシンボルマークの使用の他、事業運営面の支援や広報の支援が受けられます。
今後は、この制度を活用して全国に敦賀港の魅力を発信し、交流人口の増加、来訪者の利便性向上に努力していきます。



きらめきフェスティバル中に行われた認定披露式典。本田保幸敦賀港湾事務所長から、河瀬市長と川上究サマーフェスティバル実行委員長に記念の旗が贈られました。